

## 令和4年度 学校評価中間評価の結果を受けての後期の取組みについて

領域	課題の改善に向けた具体的な取組
1 学校経営	<p>◇学校評価の中間評価および後期の取組みを職員会議やHPを通して校内外に周知し、全教職員の共通理解と保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら、日々の教育活動に精励する。</p> <p>◇様々な教育課題に対し、迅速な情報の共有に努めるとともに、課題解決に向けて適切に組織対応し、教育改革を推進する。</p>
2 学習指導	<p>◇基礎学力の充実と計画的な教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間で、学び直し教材を活用し基礎学力の充実を図る。</li> <li>・本校生徒の実態を踏まえ、授業形態、内容を工夫しながら基礎学力定着を目指した授業を実施する。</li> <li>・生徒アンケートと相互参観授業を行い、生徒の要望を把握しつつ、生徒の学習改善や教員の授業力向上をはかる。</li> </ul>
3 生徒指導	<p>◇授業規律と身だしなみの重点指導（スマホ指導、頭髪・服装・ピアス指導、スカート指導）を全教員で行う。</p> <p>◇指導定着のために必要な教員間の共通理解・共通行動を図るため、報告・連絡・相談を徹底する。</p> <p>◇生徒とのコミュニケーションを積極的に取り、指導の理解を深める。（登下校時の立ち番や休み時間の巡視等）</p>
4 進路指導	<p>◇3年学年団を中心に他の分掌の教員とも協力しながら、進路決定に至っていない生徒への指導を継続しておこなう。</p> <p>◇三年間を見通して各学年団と協力しながら、体験的な活動も含めた進路行事の充実に努める。</p> <p>◇今年度の進路動向を見極め、職員減少のなか来年度に向けて適切な進路活動を計画していく。</p>
5 特別活動等	<p>◇部活の再編が完了する年度であり、現状も踏まえて今後の取組みについて検討していく。</p> <p>◇来年度学園祭についての検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度もコロナ禍のため縮小する形での実施となった。3学年が揃う高等養護学校とのタイアップの中で、本校生徒にとって適切な学園祭時期と取組みについて、教員と生徒会の中で今後も十分な論議をする。</li> </ul>
6 学校図書館	<p>◇図書整備・雰囲気づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等養護学校併設を意識した図書資料収集と他教員との連携による調べ学習の充実。</li> </ul> <p>◇読書案内や図書館便り発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体による図書紹介・図書館イベントの中で生徒の図書や得意分野の紹介に努める。</li> </ul>
7 保健指導	<p>◇保健室の来室状況統計などを教職員向けほけんだよりに記載し、保健室の状況を教職員全体に情報発信していく。</p> <p>◇保健室内での対応については、実際に保健室へ先生方に足を運んでいただき、指導内容を確認していただきたい。</p>

8 人権教育	<p>◇生徒人権委員会でいじめ防止標語ポスターを作成し校内に掲示をする。生徒のいじめ防止への意識を高める。</p> <p>◇人権映画鑑賞会や人権講演会の内容を深め、生徒の人権意識を高める。</p> <p>◇教職員への研修を実施し、人権感覚を高める。</p> <p>◇ボランティア活動を活性化する。</p> <p>◇個別の指導計画および教育支援計画の作成を継続し、次年度および進学先・就職先へ引継ぐ。</p> <p>◇個別の教育支援計画を有する生徒について、本人、保護者との面談を実施し、支援の様子や新たな課題等について情報を共有する。</p> <p>◇HRや授業において、一斉指導の中でできる支援を検討していく。</p>
9 環境教育	<p>◇掃除の時間に個別の生徒への対応が入ることが多く、教員が清掃活動の指導に入れないことがある、教員は掃除の時間を意識して確保するように努める。</p> <p>◇ポスター等を掲示し、校内美化の啓発活動を行う。</p>
10 事務・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の範囲内で、施設の修繕など適正な校舎管理を行う。</li> <li>・優先順位や緊急性を考慮し、適正な事務執行に努める。</li> <li>・個人情報を取り扱う事務については、細心の注意を払い、情報セキュリティ対策を徹底する。</li> </ul>
11 その他学校の取組	<p>◇HPを適宜更新するとともに、マチコミメールによる情報の提供と共有を随時行う。</p> <p>◇中学校や地域との連携を図り、学校の魅力をPRする。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染症の拡大防止や派遣先の受け入れ状況に鑑みて、今年度は留学の機会を短期・中期・長期から選べる形で準備し、希望する生徒を派遣する。国際交流の機会を保障するという観点で、提携大学の神戸医療福祉大学と連携をした授業を行う。</p>